

経営情報科学研究科 博士後期課程 経営情報科学専攻

(1) 専門分野

博士後期課程では、複雑化する経営情報科学における高度な専門の研究を担い、博士前期課程修了者よりもさらに高い分析能力や問題解決能力を有する高度専門職業人や、自立して研究の発展に取り組む研究者を養成することとする。

専門分野	内容／担当教員
経営システム特殊研究	<p>経営システム関連分野には、いかに企業などの組織体を長期発展させるかという観点から、ITによる情報システム中心の「IT経営情報システム」の研究が盛んに行われている。その一方で、近年ではITに拠らない「非IT経営情報システム」の研究、さらにはITと非ITの相補作用からなる「経営情報システム」の研究へと総合化の途を歩み始めている。</p> <p>ゆえに、博士後期課程では「経営システム特殊研究」と「研究指導」の履修を通じ、いかなる院生であっても、上記の潮流を踏まえて重点研究を担うことや、あるいは自由な発想で新機軸の研究開発を担うように支援されるか、このような支援をベースとする指導教員と院生の関係強化を図ると同時に、院生が自立してさまざまな関係を構築し関係拡張ができるような指導にも力を入れることが博士後期課程編成の特色となる。</p> <p>具体的な教育研究分野として、「経営システムの教育研究」、「品質マネジメント・システムの教育研究」、「生産マネジメント・システムの教育研究」、「ヒューマンリソース・マネジメントの教育研究」、「ロジスティクス・システムの教育研究」、「マーケティング・マネジメントの教育研究」、「オペレーションズ・リサーチの教育研究」、「ベンチャー・ビジネスの教育研究」、「システム・マネジメントの教育研究」、「技術経営戦略の教育研究」、などについて、基礎から応用までのテーマを取り上げる。</p> <p>近藤 高司、石井 成美、後藤 時政、加藤 里美、藤井 勝紀、服部 洋兒、吉成 亮、小林 富雄、仁科 健、山田 裕昭、羽田 裕、水谷 聡志</p>
情報システム特殊研究	<p>博士後期課程では、高度情報システム設計、構築、運用が出来るように、大学院研究グループごとの活発な定期的研究講義、研究討論、研究発表を行う。ここでは国内外での先端的な情報システム研究・技術を取り上げ、教員と学生の一体化した教育、訓練の場としたい。この過程で博士研究のテーマを決定して、テーマ解決のため方法論の研究、開発、実践、評価が必要になる。これら得られた研究成果は国内外の国際機関、著名な出版機関、研究学会誌に投稿することを奨励義務付ける。最後にこれらの発表論文をまとめた博士論文の提出が必要となる。博士後期課程の修了条件は同課程での研究成果と情報システム分野での高度の思考訓練とシステムの構築、運用が出来る経営情報技術者・知識人の育成が博士後期課程の課程編成の特色となる。</p> <p>具体的な教育研究分野として、「情報システムの統計情報科学の教育研究」、「情報分散・ネットワーク技術の教育研究」、「データマイニングの教育研究」、「知能情報コンピューティングの教育研究」、「情報システムの信頼性・セキュリティの教育研究」、「情報理論の教育研究」、「ソフトウェアデザイン論の教育研究」、「コンピュータ・グラフィックス論の教育研究」、「システム・セーフティ論の教育研究」、「コンピュータビジョンの教育研究」などについて、基礎から応用までのテーマを取り上げたい。</p> <p>伊藤 雅、小野木 克明、鈴木 晋、小林 正、中村 栄治、森本 正志、中條 直也、伊藤 暢浩、鳥居 一平、河辺 義信、菱田 隆彰、水野 慎士、塚田 敏彦、北坂 孝幸、内藤 克浩、澤野 弘明、松河 剛司、梶 克彦、内種 岳詞、玉森 聡</p>
財務システム特殊研究	<p>博士後期課程では、経済主体における資金・財務の流れを高度に解明・分析できる能力を育成するために、大学院研究グループごとの定期的に活発な研究講義、研究討論、研究発表を行う。ここでは国内外での先端的な会計システムの研究、経営・経済分析研究、会計監査研究、ファイナンシャル・マネジメント研究、リスクマネジメント研究を取り上げ、教員と院生との密接な教育研究鍛錬の場とする。この過程で博士研究のテーマを決定して、テーマ解決のため方法論の開発、実践、評価が必要になる。ここでの研究成果は国内外の国際機関、著名な出版機関、研究学会誌などに投稿することを奨励義務付ける。このように、財務システム分野での思考訓練と高度な財務システムの評価、適正化、構築、運用が出来る高度専門知識人の育成が博士後期課程の課程編成の特色となる。</p> <p>具体的な教育研究分野として、「財務会計の教育研究」、「国際会計の教育研究」、「経営分析の教育研究」、「経済性分析の教育研究」、「監査論の教育研究」、「ファイナンシャル・マネジメントの教育研究」、「リスクマネジメントの教育研究」、「内部統制の教育研究」、「財務諸表の教育研究」、「原価計算の教育研究」などについて、基礎から応用までのテーマを取り上げる。</p> <p>小森 清久、坂本 孝司、丸山 恭司、終 紫乃</p>

(2) 科目一覧

	科目 コード	科目名	単位数		開講期	備考
			必修	選択		
特殊研究	B8201	経営システム特殊研究Ⅰ		2	1・2年次	
	B8204	経営システム特殊研究Ⅱ		2	1・2年次	
	B8202	情報システム特殊研究Ⅰ		2	1・2年次	
	B8205	情報システム特殊研究Ⅱ		2	1・2年次	
	B8203	財務システム特殊研究Ⅰ		2	1・2年次	
	B8206	財務システム特殊研究Ⅱ		2	1・2年次	
		計		0	12	修了要件4単位以上
研究指導	B8101	研究指導Ⅰ	4		1～3年次	
	B8102	研究指導Ⅱ	4		1～3年次	
	B8103	研究指導Ⅲ	4		1～3年次	
		計	12	0		修了要件12単位

(3) 履修方法

- ・特殊研究は、専攻する専門分野の科目を修得してください。
- ・研究指導は、3年間継続して、研究指導を受けるものとします。

(4) 修了要件

- ・博士後期課程に3年以上在学していること。
- ・所定の単位を修得していること。
- ・必要な研究指導を受けていること。
- ・博士論文の審査及び試験に合格していること。
- ・博士後期課程の在学期間に関しては、大学院において優れた業績をあげたと認められた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

(愛知工業大学大学院学則第26条第1項ただし書きの規定による在学期間をもって博士前期課程を修了した者については、「当該課程に1年以上」とあるのを「大学院に3年(博士前期課程における在学期間を含む)」と読み替えるものとします。)

【所定の単位】

特殊研究	4単位 以上
研究指導	12 単位
合計	16 単位 以上